新宮山彦ぐる―ぷ第2368 口

平治宿の点検

◇実施 加者 日 沖崎吉信、 梶野照雄、 6 月1日 湯川 日 村吉光夫 郎、 阪口雄二、 晴 松本吉殖、 7 名 畑林秀味

や塩ビパイプなどを運んだ。 した村吉さんも復活、 から「平治宿トイレの排水路工事を行う」と連絡があり、 休以後、 初めての持経宿、 参加された。 また、体調不良で連休の持経宿を欠席 平治宿の巡回整備となる。 幅広の樋 松本さん







走り出して10分

8時半前に出発し、

沖崎車、阪口車、村吉車の3台で持経宿を目指

太い 木が落ちている

午前8時過ぎ、スポーツ公園の駐車場に着くと、全員が揃っていた。 奥にモノレー

るか、 ばった破片や、一 りそうだ。この先でも数回落石を除き、やっとゲートに着い 移動はできず、長さも5m近くあり、 けながら進み、モノレールの手前で直径が60㎝ほどの腐った大木 道部分で倒木や落石が多かったので、ゲートから上はどうなってい が法面側に落下し 面状況で、スポーツ公園から1時間少々で到着した。 を塞いでいた。 走り出して10 いささか不安だったが、持経宿まではいつもと変わらずの路 阪口君が鋸で切って除去。 緒に落ちた木を切って処理した。大木は人力での こていた。 分ほど、 谷側は車 直 径10 一台が通れる広さがあり、 小切りにするにも時間がかか cm 位の木が斜面 暫く落ちている石を除 から 倒 た。 れ · て道







樋を運ぶ



水路工事

2 m 気温が低く風が強いので、尾根筋では寒さを感じる。一時間弱で平 持経宿到着後、持ってきた荷物を降ろし、ベンチを二つ組み立てた。 治宿に着き、ストーブに火を入れる。トイレの排水路工事を松本さ ベンチ組み立て ほどの長さのパイプや樋、 樋の蓋などを分担して平治宿へ運ぶ。

んらにお任せし、 梶野、 湯川、 阪口の3人で水場の確認に向 かう。









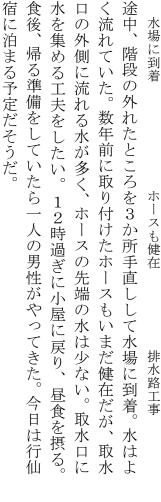
本日の参加者



持経宿を離れる



スポーツ公園着



で水場 報告があった。 ルやアルミ缶を集めて持ち帰った。阪口君は車にポリタンクを積ん 小屋の無人販売にビールが5本ほど残っていた。 持経宿に戻り、在庫を確かめる。倉庫にはビール、コーラ共に無し。 40分で到着した。 戻ってきて「道が均されて、 スポーツ公園までの帰り道は、車を停めることなく きれいになってました」と からのペットボト (記;梶野)

行動タイム

12:55→13:49 持経宿 14:12→14:53 スポーツ公園駐車場 スポーツ公園駐車場 08:20→09:29 持経宿 10:03→10:57 平